

## 日本放射線影響学会第 57 回大会 シンポジウム, ワークショップ公募について

この度、日本放射線影響学会第 57 回大会を平成 26 年 10 月 1 (木) -3 日 (金) にかごしま県民交流センター (鹿児島市) で開催いたします(大会長: 馬嶋 秀行 鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 教授、大会顧問秋葉 澄伯鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 教授)。

本大会では、シンポジウム及びワークショップを公募します。2014 年 4 月 30 日 (水) までに事務局宛 [mitochondrion@dent.kagoshima-u.ac.jp](mailto:mitochondrion@dent.kagoshima-u.ac.jp) に、メールの添付ファイルで御申請下さい。

鹿児島県での開催は過去56回の日本放射線影響学会学術大会史上初の開催となります。大会は日本放射線影響学会会員、九州の研究者および若手研究者を中心に準備等を担当させていただきます。

2011年3月に発生した東日本大震災に起因する福島第一原子力発電所事故に伴い、放射線の健康への影響や将来への不安が多く国民の重大な関心事となっている現在、放射線影響科学に関わる幅広い研究者が集まり、学術大会を開催することの意義は大変大きいものと考えております。さらに、放射線は産業や医療など、我々の身のまわりで幅広く利用されております。特に医療分野における診断や治療での応用発展の進歩は目覚ましいものがあります。一方で日本ではこれまでの様々な歴史的な経緯もあり、「放射線」という言葉には負のイメージがつきまってきました。改めて放射線影響研究の重要性とそこに携わる者としての責務が課せられていると理解しております。そこで、今回の大会のメインテーマは「放射線によるリスクとベネフィットの再考」といたしました。本大会は、関連分野との協力や協調により、放射線影響研究の一層の発展を目指しております。学術プログラムでは一般口演発表を中心に、シンポジウム、ワークショップ、特別講演などを予定しております。

シンポジウム及びワークショップの選考に関しましては、プログラム委員会にて行い、決定後に採択の可否をご通知申し上げます。座長は原則として日本放射線影響学会会員とします。講演者を会員外の先生から選ばれる場合には、参加費と懇親会費を免除いたします。大会本部の財務事情の推移によりますが、旅費や謝金の支給は原則不可とお考え下さい。なお、採択後の各

シンポジウム・ワークショップの演者先生方の抄録原稿の受付と座長の先生方の参加登録に関しましては、一般演題の場合と同様に、当ホームページ上にて行っていただく予定です。参加登録、演題登録の詳細につきましては、随時当ホームページ上にてお知らせいたします。

ご応募何卒よろしくお願いいたします。

第 57 回大会ホームページ：<http://jrrs57.umin.jp/>

ご不明の点がありましたら、メールにて事務局宛  
mitochondrion@dent.kagoshima-u.ac.jp まで連絡下さい。

日本放射線影響学会第 57 回大会大会長 馬嶋 秀行  
事務局長 犬童 寛子